へきくなると思う。

防犯隊は、消防団員から選

## 吉田田 新風会・ 清 公明 隆

## 防犯隊について 小中学生の不登校について

**その他の質問** ・まちづくり会館の名称について

の猛暑を考えるとTシャツで

も可能ではないか。防犯隊の 低い状況ではないため、 ついては、現時点では著しく 制服について伺う。 も他市の状況も踏まえながら 防犯隊の報酬の見直しに 今後

検討していく。

動できるよう検討していく。 と明記されたビブス等を支給 服を見直し、「勝山市防犯隊」 給できていない。 に着用する活動服は全員に支 ているが、捜索活動などの際 防犯隊員の制服について 季節に合わせて快適に活 冬場は防寒着の上に着用 隊員全員に制服は支給し 夏場はTシャツ等の上 今後は活動

おく必要があるのではとの発 用スペースも人員も少ない中 生の不登校は24万4940人 言があった。 等の対応を各学校で準備して 最も低い結果であった。 県は計1087人で、 で過去最多を更新した。 で苦労している」、「教員1 八に責任を背負わせないで」 県総合教育会議で「相談専 令和3年度の全国小中学 全国で 福井

観光施設の充実が見込ま

防犯隊の負担はますます

住みよい地域社会を実現する 犯団体で、犯罪のない安全で

防犯隊は福井県独自の防

ための活動を行っている。

勝山市は、

交通機関の整備

備について伺う。 で24名。 の児童生徒の数は、 勝山市の小中学校の不登校 学校の対応策としての準 小中学校における不登校 11月現在

理

学校づくりや相談しやすい雰 識して取り組んでいる。 ど外部機関と連携して支援を が続く場合には医療や福祉な 対応する 休み始めたらすぐに担任やス 行う「自立支援」 による相談会など、チームで 談や家庭訪問、 クールカウンセラーによる面 囲気づくりの「未然防止」 校に来るのが楽しいと思える 学校の対応策としては、 「初期対応」、欠席 教員と保護者 の3点を意

> 般質問 議:議員/理:理事者

## 学校を勝山高校グラウンドに建設する計画の 題について

るのか見解を伺う。

ない。それでも市長は強行す

うにする」とだけ答えた。

まえ、引き続き、再編計画

その後、説明会などをした

市民の理解は得られてい

に、教育長は

「理解を得るよ

強行するのか」との私の質問

で住民の過半数が反対しても

6月議会で「ある中学校区

その他の質問
・県立恐竜博物館の臨時休館対策と、観光事業について ・子育て支援日本一をめざす取り組みについて ・全国で始まっている高齢者等への「補聴器購入助成」を勝山市でも直ちに実施すべき ・子育て支援日本一を

する議員は1人もいない。

は全員が計画に賛成し、反対 るのか。北部中校区の4議員

住民の声が議会に反映してい |名されているそうだ。この

区では世帯数の8~9割が

荒土町伊波と北宮地の4

ている。

北郷町伊知地、

鹿谷町志

ることはありうると受け止め

意見の違いが生じ

は消防団員の報酬に比べて低 ばれているが、防犯隊の報酬

防犯隊の報酬の見直しを

してはどうか。

また、防犯隊の制服は、

夏

明で、そういう線で考えてい なのか、勝山では子どもたち せず、国民主権や物事を民主 きたい」と述べ、これだと市 に教育長の説明のように教え とになるが、市長も同じ考え 的に決めることを否定するこ 民の過半数が反対しても尊重 辞典ではほとんど全部との説 はない」、大多数とは **人多数が反対している状況で** ②8月に教育長は 「市民の 国語

日本共産党

いる。

していただいていると思っ 解を見つけていくことを指導 点から総合的に判断して最適

田

安信

000筆を超え、北部中校区 名は、3月議会に出された4 では住民過半数を超える勢い ①9月に始まった市民署 ているのか伺う。 なるため、

更も行いながら、最終的には ら長い年月をかけて検討を積 申を踏まえて進めている。 会から示された「中学校は1 み重ね、その中で方向性の変 校のあり方検討委員会設置か 勝山市立中学校再編検討委員 校に再編統合すべき」との これまでの経緯の重みを踏 ただし、平成16年の小中学

が、一般的に物事を進めてい の進め方ということだと思う 意見を踏まえつつ、様々な観 進めていくのが民主主義の基 がある中で議論をしながら ることはあるが、様々な意見 く上で、賛成や反対の数を見 ていない。 本と考える。必ずしも数が全 実現に向けて努めていく。 てというふうに学校では教え ②質問の趣旨は、民主主義 学校では、 少数の

校区によって環境等が異 ①中学校統合にあたって

10